

# まんさく

第292号

発行  
特別養護老人ホーム光寿苑  
まんさく編集委員会  
和賀郡西和賀町湯本30-76-1  
TEL 0197-84-2526  
koujhu@fancy.ocn.ne.jp  
題字 元理事長 太田 祖 電



ミャンマーから来てくれた新人介護員 [令和5年8月2日より来日]

特定技能労働者のターさんとメイさん。ピュアな笑顔は宝ですね♪【関連記事：4頁と7頁】

## 292号もくじ

### ☆2～3頁★

- \* 総括課目標
- \* 地域密着型事業目標

### ☆6頁★

- \* 地域密着型事業紹介
- \* 元気です！家族会

### ☆8頁★

- \* 「光寿苑の日々」(4コマ漫画)

### ☆4頁★

- \* 想…災害を捉える(前半)
- \* 「職員募集」のお知らせ

### ☆7頁★

- \* 今生より往く(ご逝去されたお年寄りのご紹介)
- \* 新人さんいらっしやい♪

### ☆5頁★

- \* 想…災害を捉える(後半)
- \* 面会・外出・寄贈・等紹介

- \* 「自然法爾」(お寺さんのお話)

- \* 「おわりに」

# 相手を活かし、自分を活かす意識で出発します♪

【在宅】「①総括課」 ☆細川 浩☆

法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』					
テーマ	各部署・入居者を知る。理解する。					
令和4年度下半期のイメージ	理想像	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>防災意識を高める「防災研修・訓練」の積み重ねの実践</td> <td>入居者・家族・地域・職員の相互理解</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	防災意識を高める「防災研修・訓練」の積み重ねの実践	入居者・家族・地域・職員の相互理解
	目標 ①	目標 ②				
防災意識を高める「防災研修・訓練」の積み重ねの実践	入居者・家族・地域・職員の相互理解					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①防災研修の開催 [10月] ⇒アンケート「質問・疑問のまとめ」 ⇒返答を受け取り「フィードバック」 [12月]  ②防災訓練の積み重ね ⇒部分訓練・夜間訓練の実施 [2月～3月]	①入居者・家族等の想いを察する。  ②家族会活動の継続『事業推進』  ③地域連携と相互理解				



法人キーワード	令和5年度共通のキーワードは『活かす』					
テーマ	コロナ禍3年の生活経験を普段の日常生活に活かす。					
令和5年度上半期のイメージ	理想像	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>★在宅高齢者への地域支援・貢献</td> <td>★家族・地域への施設開放</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	★在宅高齢者への地域支援・貢献	★家族・地域への施設開放
	目標 ①	目標 ②				
★在宅高齢者への地域支援・貢献	★家族・地域への施設開放					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①配食サービスの継続 (配食サービス事業の啓発)  ②ショートステイ事業受入れ再拡充	①家族会活動の再開と継続  ②地域連携 ⇒地域防災の再構築と連携				

# 令和5年度の法人キーワードは『活かす』です！

【在宅】「②地域密着型部門(ひなたぼっこ・湖畔の宿)」 ☆刈田光太☆

法人キーワード		令和4年度共通のキーワードは『続・知る』	
令和4年度下半期のイメージ	テーマ	地域を知る	
	理想像	目標 ①	目標 ②
		地域住人との交流を深め、情報を得ていく。	サロン・お茶会の内容の充実(令和3年度から継続)
具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①地域行事へ積極的に参加していく。 (防災訓練等) ②サロンやお茶会で発信された情報を収集し、地域へ出向いていく。 ③近隣住人への明るい挨拶を心掛けていく。	①感染症対策をとったうえで ・バス旅行〔お茶会〕 ・季節を感じていただける作品作り〔お茶会〕 ・身体機能低下を防ぐ為、西和賀ご当地体操やゴルフを取り入れ体を動かしていく〔サロン〕 ・コロナ禍で隣近所との交流が減っている為、お茶会やサロンを通して交流を深めていただく〔お茶会・サロン〕 【令和3年度から継続】	



法人キーワード		令和5年度共通のキーワードは『活かす』	
令和5年度上半期のイメージ	テーマ	地域住人との交流を深め、得た情報を活かす。	
	理想像	目標 ①	目標 ②
		★地域に出向いて情報収集していく	★サロン・お茶会の内容の充実(令和4年度から継続)
具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①地域行事へ積極的に参加していく。 →地域総会・防災訓練等 ②地域住人から得た情報に基づき必要な支援、対応を検討していく。 ③近隣住人への明るい挨拶を心掛けていく。	①感染症対策をとったうえで ・バス旅行〔お茶会〕 ・季節を感じていただける作品作り〔お茶会〕 ・身体機能低下を防ぐ為、西和賀ご当地体操やゴルフを取り入れ体を動かしていく〔サロン〕 ・コロナ禍で隣近所との交流が減っている為、お茶会やサロンを通して交流を深めていただく〔お茶会・サロン〕 【令和4年度から継続】	

北上市の水道屋さん、八重樫敏氏に連載で筆をとって頂いております。今回は、「震災の記憶⑤…見抜く力 ～噂は99%が嘘だと思ひましょう～」と題して、情報の真実を見抜くために注意すべき事など必読です。いよいよ最終稿となります。噛み締めて、ご一読下さい。

# 噂は99%が嘘だと思ひましょう

前回の続きです。最終回です。震災時には、様々な噂が飛び交わりました。皆さんもよく耳にした事と思います。例えば、▽とある地域は漁師町で気性の荒い地域で、家を流された人が流されなかった家に腹いせに火を点けて回っていた。津波の被災地で火事が起こっているのはそのためだ。とか、▽避難所に避難している子どもたちの親戚を名乗って子どもを連れていく事案が多数起っているらしい。▽や、▽原発の周辺で住民が避難して空になった街に外国人の集団が入り込んで窃盗をしている。△など。その他にも、▽震災は某大国の開発した地震兵器による人工地震△とか、さらには、▽原発事故で放射線物質が大量にばら撒かれたため、福島県では3年以内の人にバタバタ死ぬと云った、ある意味、誹謗中傷につながる噂が後を絶たない状況が続いていました。

今あげた噂はほんの一部で、多分、もっと多くの噂が飛び交ったはずですが(忘れてしまったものも

多いです)。当時はテレビも観れず通信も不安定だったりで、流れてくる噂の真偽を確認する事ができませんでした。出処が不明な話はまず99%、いや100%疑ってかかって良いと思います。〃へり、〃うなんだ。ではなく、〃それ本当かな?〃という姿勢です。

また、テレビで言っているから…というの、それが真実か否かを担保しないと思ひます。特に最近のテレビでは、▽実際に起きた事にコメントイターなる人が意見(個人の感想)をくっつけて話す場面が多く、コメントイターの意見はその人の希望程度の話なので不要であるばかりか、時に有害な場合もありますので要注意です。

気をつけなきゃならないのは、何事も最初から決めつけてはいけないという事でしょう。最初から、▽本当に違くないととか、▽嘘に決まっているとという捉え方も根柢なく結論付けている時点で、噂話と大差ありません。いざ災害が起こってしまったとして、(噂話



ミャンマーから来てくれた特定技能労働者のお二人に、介護技術の講習中です。

## 職員募集中

【特に急募しております↓↓↓】

### 看護師と調理員

- ① 町外の方等であれば、住まいも併せてケアさせて頂きます(^\_^)
- ② 期間限定でも構いません。お力下さる方、お待ちしております。
- ③ 上記の他、介護職、相談員職などもお気軽にお尋ね下さい。

まずはお電話を！0197-84-2526

# 想...

## 災害を捉える ~岩手から発信します~

### 『震災の記憶⑤…見抜く力』八重樫敏氏



について、今さら急いで結論付け  
てもしよやない、じっくり吟味  
しよ、そう思っただけ、思い  
かけない事故を防ぐ事ができるの  
だと思えます。

実際のところ、今まであげてき  
た「備えの話」やら「気をつけな  
ければならないこと」は、何も災  
害の時だけに大事なのではないと  
思います。これらはすべて、普段  
から日常的にそのように行動する  
ことが大事ですし、普段から身  
につけてきた行動こそが、災害時で  
あったも慌てずに行動するための  
大切なポイントになると私は思う  
のです。

そう考えますと、災害時であっ  
てもそうでなくても、それらは全  
て日常という大きな枠組みの中  
に含まれるわけで、全ての行動や言  
動、考え方、つまり、自分自身は  
災害時であろうとなかろうと、い  
つも同様であり続けるべきなりか  
なと考えます。

以上、東日本大震災被災からの  
中身を、大して整理もせずにつら

つらと書き連ねて参りました。  
全5回、気が付けば書いてきた訳で  
すか、乱筆乱文で読みにくい文章  
だったと思います。しかしながら、  
当時を思い出しながら大切に取  
組ませて頂きました。これを読ん  
で頂いた方々の人生のほんの一部  
にでも、何かしらの気づきがあっ  
たならば幸いに存じます。  
最後まで読んで頂き、ありがた  
うございました。

完

## 八重樫敏

### 八重樫 敏 氏

株式会社ヤエガシ代表取締役社長

昭和21年7月に陶器店として商いをスタート。そのおよそ6年後昭和27年4月に今の業種である水周りの工事関連としての浴槽造りであるタイル工事をスタートし、今年70年目を迎える老舗の代表。志しを語る。

『変わらない大切なもののために変わる勇気と行動力を持つ』

【ホームページより抜粋】

# おかげさまでした

### 寄贈

- ★ 鈴木 恵子 様 [湯川]
- ★ 匿名 様 [西和賀町]
- ★ 匿名 様 [秋田県]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下前]
- ☆ 高橋 康文 様 [新町]
- ☆ 照井 和江 様 [北上市]
- ☆ 杉谷 政行 様 [横手市]
- ☆ 有馬 正興 様 [仙台市]

### 寄附

★ 8月7日の光寿苑盆踊りに参加の21名の皆様より、お祝い賜りました。ありがとうございました。

### 面会・外出 [8月1日~31日]

- 【対面面会】
- ★ 延べ40名 (対象入居者12名)
- 【外出】
- ★ 6名 (自宅へお盆帰省)
- ★ 5名 (岩手県知事選挙等期日前投票)



# 光寿会への支援

今月の登録者の方々  
15名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」  
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

# アフターコロナの過ごし方( ^ ) 「ひなたぼっこの日常」



2023/08/19 12:10



2023/08/07 16:14



2023/08/07 16:5



2023/08/07 16:04

左上の1枚 上野々地区の子どもみこしがやってきた♪  
その他3枚 ひなたぼっこミニ夏祭りの情景♪

## 第110回

110回目は、家族会役員さんの一部交代がございましたので、ご紹介させていただきます。

- |         |         |
|---------|---------|
| 会 長     | 佐々木一さん  |
| 副 会 長   | 照井恵悟さん  |
| 事 務 局 長 | 藤原輝夫さん  |
| 監 事     | 高橋信男さん  |
| 地 域 役 員 | 照井 薫 さん |
| 〃       | 小森一彦さん  |
| 〃       | 高橋保友さん  |
| 〃       | 佐々木忠雄さん |
| 〃       | 新中川伸一さん |
| 〃       | 新菅野孝子さん |

# 元気です! 家族会♪



柔らかな空気感と面影、永遠に…♡



# 『今生より往く』

佐々木 ムツ さん【86歳】

“ムツさん、お家のお気に入りの場所に座って、桜の木を眺めていますか？” 入居された最初の頃、息子さんを待って涙を流されている事もありました。ユーモアのある語り口と笑顔に、自然と人が集まり、周りはいつも賑やかでした。ありがとうございました。

《金子利加子》

## 新人さんいらっしゃい♪

☺リニ人、☺リメイさん、☺リターさん



ミャンマーから特定技能労働者として光寿苑に来てくれたメイさん(右)とターさん(左)です。日本語も上手で、笑顔の声掛けで非常に感じの良いお二人。少し質問してみました！

Q 日本に来て一ヶ月、仕事はどうですか？

A この仕事(介護)が大好きです。私たちに合う仕事だと思います。

Q 頼もしいですね。この仕事で良かった事は何ですか？

A おいしいちゃんおばあちゃんかできないことを手伝ってあげると、リありかとう”って笑顔で言われるのが嬉しいです。

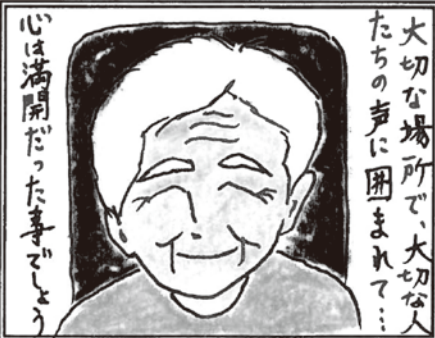
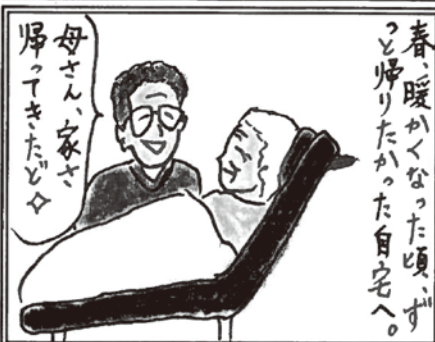
Q おいしいさんおばあさんと話す時、笑って話してくれて、それがとても楽しいです。

Q 二人の笑顔がステキだからお年寄りたちも笑顔になります。話は変わりますが、日本の食事は口に合いますか？

A 最初は合わないと思ったけど、今は合います！(笑)

Q 何か欲しい物は？  
A 自転車欲しいです。色々な所に行けるので宜しくお願ひします！(笑)

# 292号 光寿の日の



イラスト：1000

光寿花と縁あって10年、看取りの告知からは実に4ヵ月半、最期も住み慣れた場所で生き抜かれた。知らない場所、知り合いのいない環境で、いくら高度な医療があっても真に「生きている」ってなるの、何が？改めて考えさせてもらいました。

## 自分の限界に気づかない者は、他人の長所を見逃しがちである。

### 岡倉天心

第91回 丸田善明

#### 自然法爾

(じねんほうに)

美術館に勤める娘の50歳の誕生日に、一ヵ月前がんで亡くなった父から届いた宅配便。中からアパルトの鍵が出て来た。

職場で昇進を志すことになった父は、妻に疎まれて熟年離婚し、晩年は一人、小さなアパルトの食卓で読書をして過ごしていた。

娘は高校生の頃、父はどんな本を読んでいたのかと思って、僅かな蔵書の中から赤茶けた文庫本を取り出して見た。それは「茶の本」(岡倉天心)という、西洋人に日本の美の真理を伝えるために英文で書いた美術館の和訳で、圧倒的な美意識に賞はれていた。父は何

度も繰り返して読んだようだ。冒頭の言葉は、その初め近くに出てくる。

社会人になって、父の印象は変わった。父は、母や社会

にとっては無用のひとだ。たのかも知れないが、無能の人ではなかったのだ。

送られてきた鍵は、父が独身時代に住んでいたアパルトのものだった。神田川沿いの桜並木の「おもかげ橋」に近く、古い建物が残っている、空っぽの四畳半の畳の中央に「茶の本」があった。誕生日の贈り物として。

原田マハ「無用の人」より  
岡倉天心「茶の本」の引文は筆者超訳

### おわりに

52歳の打撃投手というタイトルで、数ヶ月前、テレビで紹介されている方がいた。この方、某プロ野球チームで打撃投手として現役バリバリでやっているプロフエツシヨナルである。彼は言う。

「(打者に対して)こちらは同じリズムで、同じ軌道で、同じ球速で投げる。こちらから合わせれば決して行ってはダメ！打者が全く同じ球を打つ中で修正していくことが大事なんです。」

何と奥深いことだろう。損得感情のない、自利利他の精神で臨み続ける姿勢は実に尊く、私自身の日常を振り返ると恥ずかしくなる。たまたま親たじ縁、大切に。

※他の利のために修す事は自らの利と成る